

## 第五期長期計画・調整計画策定委員会 傍聴者アンケート

第16回実施分（平成27年8月21日開催） 自由記載欄

○ 今回の策定委員会で印象に残った、または興味のある議論や課題がありましたら記入してください。

- ・桜堤児童館の機能拡充：「民間の活力」「地域の子育て支援団体」だと特定NPO、つまりひまわりママと関係市議の顔しか浮かばない。〇〇委員の提案である「市民の力」や「利用者団体」も含まれる方が、広い可能性を感じる。〇〇委員は「ニーズを聞いていくのだから（拡充でも）良いじゃないか」とおっしゃいますが今の今まで桜堤児童館に限定したニーズ調査はなく、ごく一部から聞いたニーズを「地域のニーズ」とすりかえたことがあり、安心できません。
- ・学童クラブ事業：高学年児童（障害のある5～6年生を含む）をあそべえと連携して受け入れるとしていますが、「学童クラブとあそべえの開所時間の違い（差）をどう埋めるのか？」「そもそも各あそべえは、障害のある児童に対応できるスキルがあるのか？等疑問が残ります。いざふたを開けたら「高学年は17時になったら一人で帰宅しろ」「あそべえでは障害に対応できないので連携できません」では、当該児童がかわいそうです。あそべえの造りや間取りも含め全校で対応できるのでしょうか？
- ・「共助」について：「共助というと公は全く手を出さないように思われる」との発言がありましたが、その通りです。「共助の仕組みを生かした」では表現が弱い!!多少なりとも共助の“助ける側”にいたりすると、「ますます公から押しつけられる感」があったりするので、ここは市民目線で、誤解のない、わかりやすい表現が良いと思います。
- ・H52年には基金が底をつくということですが、武蔵野市以外はどうなってしまうのでしょうか。
- ・共助という言葉の意味が人それぞれ違うんですね。
- ・児童館について前回に引き続き、しっかり議題にして頂きありがたく感じました。ただ、“拡充”とするか“充実”とするかの議論は結果“拡充”になり残念に思いました。要は、児童館の基本的機能を必要と思うならば“充実”になるだろうと考えるからです。児童館について話す際、委員のみな様に児童館ガイドラインを一読頂いてから話し合っしてほしいなと思いました。

○ その他、ご意見・ご感想などありましたら記入してください。

- ・スクールソーシャルワーカー（SSW）の文言が入って嬉しいです。今の武蔵野市はSSWがいるにもかかわらず、生かしきれていないと思うので。現場の教師の中にはSSWとスクールカウンセラーの違いを知らない方もいるので、保護者や児童に直接周知する仕組みについても触れてほしいです。
- ・桜堤児童館：民間の活力とはひまわりママさんですか？議員の影がチラホラ見える団体はやだなあ。
- ・桜堤児童館でかなり時間がかかるのは市のやりたいことにムリがあるのでは？もっとシンプルにできませんか？市の考えをムリに文言に忍ばせるからややこしい。
- ・ひまわりママさんには、別の場所を提供してあげられませんか？
- ・H28年度大屋医院2Fにグループ保育ができます。児童館以外でもできるんじゃないですか？市の話にはムリがある。
- ・「十分に読みとれる」「尋問じゃない」と発言がありますが、読むのはド素人です。読みとる努力をしながらも理解できるように書いてください!!
- ・全市内に児童館を作りたくなるようなすばらしい桜堤児童館にして下さい。
- ・学童保育のニーズ調査を前年度に調べて、翌年に反映させるという案がありますが、実際対応できるものなんですか？
- ・児童があふれかえっているために、みんながこんなに困っているのに、プレハブさえ新設しない市の方

針は、基本的にまちがっているんじゃないのか？市の負担が多すぎるなら、もっと保育料取ればいいのか？

- ・財政計画について話があり、「現在は健全な財政を維持しているが、楽観視できず、H52には財源不足となる」と理解しました。理解はできますが、子ども人口が増えている今、もう少し子ども施策にお金を使っても良いのではないのでしょうか。他自治体に比べても子ども分野へのお金の分配が少ないと思います。保育園を誘致するのにお金を使っても保育園を利用しない人には理解できないと思います。どの年齢の子どもも子育て世代も利用できる施設(=児童館)をもっと増やすべきだと思います。学童について、高学年だからといって(ましてや障害のある児童を)学童がいっぱいだから、あそべえでというのはかなり違うと思いました。そう読みとれます。副委員長が「開所時間は？」とおっしゃっていましたが、あそべえは基本17:00まで、学童は今後19:00まで、しくみが全然ちがいます。

(※文字及び文章はアンケートに記入されていた原文のまま記載しています。)